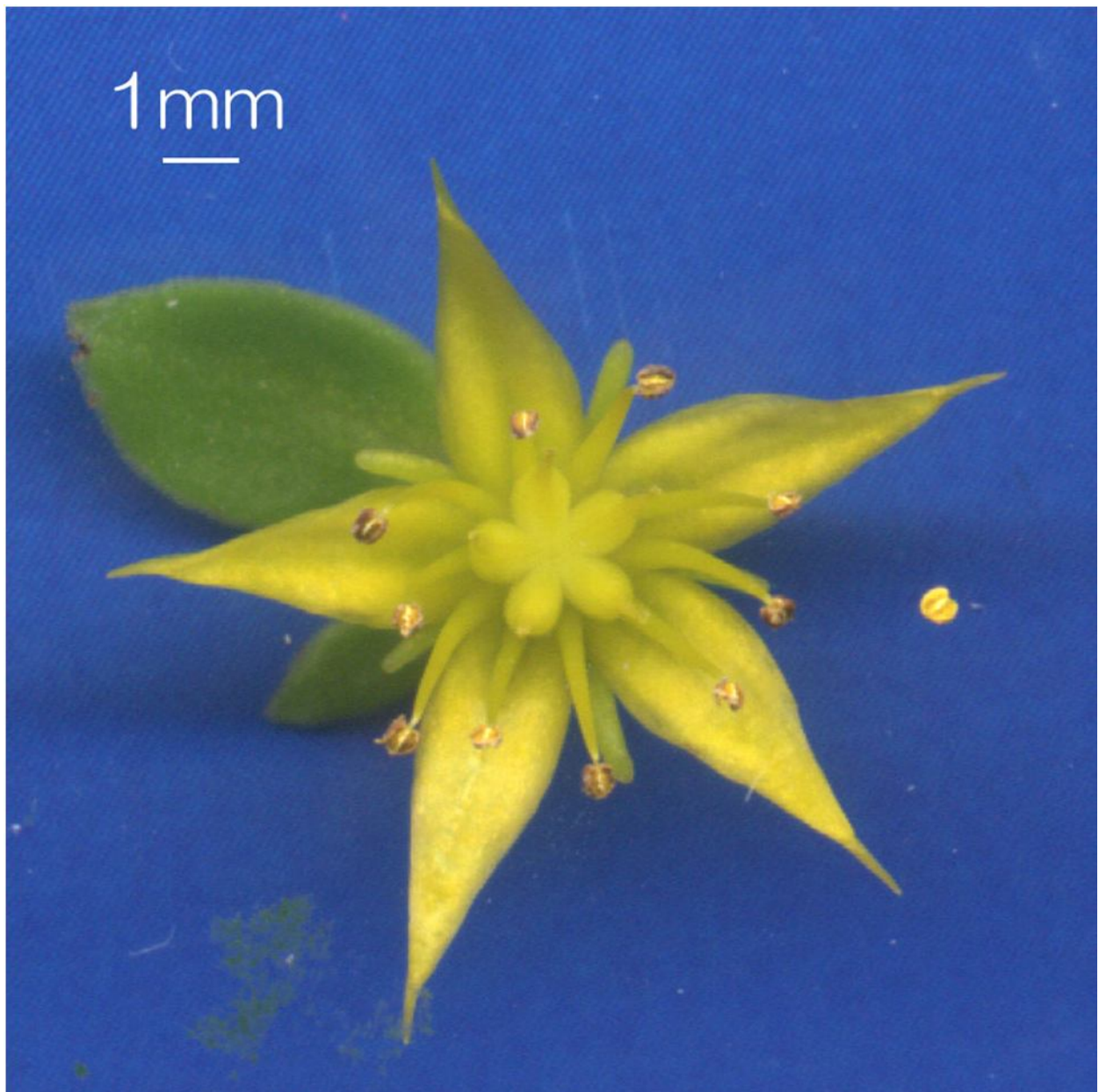


「スキャナーの活用法」

理科の教師にとって、自分自身が自然を観察することは、とても大切です。採集して標本にしたり、スケッチをしたり、写真で記録しておくことが多いでしょう。特にカメラは、教材づくりの重要な武器です。1mm以下の小さなものなら、顕微鏡で撮影できます。1cm以上の大きさがあれば、デジカメで撮影できます。問題はその間の「中途半端なサイズ」の観察対象です。デジカメの接写では小さすぎてうまく写らず、顕微鏡では視野からオーバーしてしまうのです。ところが、このサイズのものに写真に撮っておきたいものが実に多いのです。

私はそういう対象を撮影しておきたい時に、イメージスキャナーを使っています。イメージスキャナーは、通常書類や印刷物など平面的なものを画像として取り込むのに使います。しかし、結構立体的なものにも使えるのです。その実例をいくつか紹介しましょう。



「キリンソウの花」 細部まで立体的に写っています。デジカメでは難しいです。



「キノコのひだ」 上の写真がカサの裏の全体(直径約 1.5cm)。下の写真は部分拡大(横約 0.5cm)。ひだの一本一本や分岐の様子まで非常に詳細に写っています。



「キノコとコケ」 デジカメでもいろいろ試しましたが、うまくいきませんでした。イメージスキャナーなら、細部までよく表現できます。キノコの高さ 5mm。



「小さなムカデ」
キノコのひだに潜んでいました。大きさはわずか 2mm ですが、ここまで詳細に写ります。

イメージスキャナーの威力が少しわかっていただけだと思います。是非試してみてください。
(お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋)